

6月15日 三位一体

## 神はこれほどに愛された

ヨハネによる福音書 3章 16～18節

「<sup>16</sup>神は、その独り子をお与えになったほどに、世を愛された。独り子を信じる者が一人も滅びないで、永遠の命を得るためである。<sup>17</sup>神が御子を世に遣わされたのは、世を裁くためではなく、御子によって世が救われるためである。<sup>18</sup>御子を信じる者は裁かれない。信じない者は既に裁かれている。神の独り子の名を信じていないからである。」

他の朗読：出エジプト 34:4～6, 8, 9 ダニエル 3:52～56 II コリント 13:11～13

### Lectio …読む

今日の福音は短い文章ですが、聖書の中でも最も有名な箇所の一部です。というのは、これらの言葉がキリスト者としての命への門戸を開いたからです。

よく見てみると、ここで話しているのが誰かについて、はっきりとはしません。そしてギリシア語の原文からは別の解釈も可能です。ニコデモとの会話を続けているイエス自身ともとれますし (1～13節)、福音書記者が自分自身の見解を加えているともとれるのです。

すぐ前の2つの節がこの解釈を深めるのに役立ちます。神を信じるすべての人が永遠の命を持つように「上げられる」人の子についての言及です (「上げられる」とは十字架とイエスの昇天という2つの意味があります)。直接的な言及は民数記 21章 6～9節の説明に対してなされています。イスラエルの民は罪を犯し毒蛇によって罰せられました。モーセは民のためにとりなし、神はモーセに蛇を作り旗竿に掲げるように命じます。銅の蛇を見た人々は癒され、彼らの命は救われました。旗竿に掲げられた蛇のシンボルは今日でもある国々では癒しのシンボルとして残り、様々な医療機関で用いられています。掲げられた蛇とイエスとの対比の意味は明らかです。全ての人間は死に至る病に打たれるが救いはある、すなわちイエスとイエスが十字架上で罪に打ち勝たれたことを信じることによって救われる、ということなのです。

この箇所は父なる神と御子についての素晴らしい洞察を私たちに与えてくれます。神は、ある人々が信じているように人々の苦境に無関心な方ではありません。神は私たちが愛しており、ご自身の御子の地上での誕生と十字架の死を通してその愛を証明されました。このことはIIペトロ 3章 9節で次のように繰り返されています。「…一人も滅びないで皆が悔い改めるようにと、あなたがたのために忍耐しておられるのです。」

イエスの基本的な目的は、裁きよりもむしろ救いをもたらすことです。しかし、私たちはイエスにどう応えるかによって裁かれます。イエスを信じてついていくなら、光の中で生きることができるでしょう。しかし暗闇の中に留まることを選んだ人々はその結果を背負わなければなりません。

### Meditatio …黙想する

これらの箇所はあなたに何を語りかけるのでしょうか。

時間をとって神のあなた個人への愛、そしてすべての人への愛を思い巡らしてみましよう。

キリスト者になることに興味を持っている誰かに、あなたならこの箇所をどのように説明しますか。

### Oratio …祈る

「主は彼の前を通り過ぎて宣言された。『主、主、憐れみ深く恵みに富む神、忍耐強く、慈しみとまことに満ち、幾千代にも及ぶ慈しみを守り、罪と背きと過ちを赦す。しかし罰すべき者を罰せずにはおかず、父祖の罪を、子、孫に三代、四代までも問う者。』」(出エジプト 34 章 6、7 節)

賛美と感謝をささげながら、神に答えてみましょう。聖霊に、あなたが告白する必要がある罪を示してくださるようお願いしましょう。神の愛と赦しを必要としている人々のためにとりなしの祈りをしましょう。

## Contemplatio …観想する

I ヨハネ 4 章 10 ～ 14 節を黙想してみましょう。あなたはどう思いますか。

「わたしたちが神を愛したのではなく、神がわたしたちを愛して、わたしたちの罪を償ういけにえとして、御子をお遣わしになりました。ここに愛があります。愛する者たち、神がこのようにわたしたちを愛されたのですから、わたしたちも互いに愛し合うべきです。いまだかつて神を見た者はいません。わたしたちがお互いに愛し合うならば、神はわたしたちの内にとどまってくださり、神の愛がわたしたちの内です。

神はわたしたちに、御自分の霊を分け与えてくださいました。このことから、私たちが神の内にとどまり、神もわたしたちの内にとどまってくださることが分かります。わたしたちはまた、御父が御子を世の救い主として遣わされたことを見、またそのことを証しています。」